

リース方式による担い手の育成

事業名：経営構造対策事業（平成14年度認定）
 地区名：愛知県一宮町一宮地区
 事業主体：ひまわり農業協同組合
 管理主体：各施設利用組合
 施設名：複合経営促進施設 19棟22,433.95㎡（H14）
 事業費：407,432千円（国費：194,015千円）

1. 各組織の概要

組織名	トマト・メロン栽培施設利用組合	いちご栽培施設利用組合	バラ栽培施設利用組合
構成員	6名	4名	6名
設立年月日	H14.9.30	H15.8.9	H15.3.20・15.10.31
業務内容等	農産物（トマト・メロン、いちご、バラの生産・販売及びサニーレタスの育苗を行い、地区内の受益農家へ安定した苗の供給を行う。		
連絡先	ひまわり農業協同組合 中部営農センター 0533-85-1234 http://www.ja-himawari.com/		

2. 取組概要

(1) 施設導入経緯

一宮地区においては、都市化の進展により農家戸数の減少（H7:789名 H12:692名）、高齢化が進み担い手不足が進行（基幹男子農業専従者のいる農家H7:189戸 H12:174戸）していた。

一方、施設花き、野菜の生産農家の中には規模拡大による経営の安定を図る農家がいるものの、初期投資が過大となることから規模拡大に踏み切れないでいた。

(2) 取組概要

平成14年度から経営構造対策事業により整備した複合経営促進施設（トマト・メロン、いちご、バラ栽培）を意欲ある農家にリースすることにより、効率的・安定的な農業経営体の育成を支援しているところ

である。

このような取り組みの結果、事業実施2年度目にして認定農業者が48名から56名に大幅に増加したところである。

現在、リース参加者を中心とした高収益の施設栽培による担い手の確保等を推進することにより、当地区の抱える課題の解消に取り組んでいるところである。

3. 目標設定

(1) 全国共通目標

認定農業者の育成					担い手への農地の利用集積 上段：集積率（%）、下段：面積（ha）			遊休農地の解消	
計画時 （人）	目標 （人）	増加率 （%）	市町村目標 割合（%）	地区目標割合 （%）	計画時 （ha）	目標 （ha）	増加率 （%）	計画時 （ha）	目標 （ha）
48	60	125.0	8.7	8.7	118.1	327.2	24.8	1.76	0.0

(2) 地区選択目標

ブロッコリー・ブロッコリーによる集団転作 （麦・大豆）の拡大		女性の経営参画	
計画時（ha）	目標（ha）	計画時（戸）	目標（戸）
0.0	42.0	0	2

整備施設

複合経営施設全景



複合経営促進施設内部（いちご）

